



スーパー グローバル ハイスクール

# 佐高 SGH通信 2019

No. 37 (2020年1月23日発行)

## 2019 全国高校生フォーラム参加報告

令和元年12月15日(土)、東京国際フォーラム(有楽町)において「2019 全国高校生フォーラム」が開催されました。全国178のSGH指定校・アソシエイト校、WWLコンソーシアム校、グローバル校各校の発表があり、本校SGHクラブ海外研究班から4名が参加して発表を行いました。

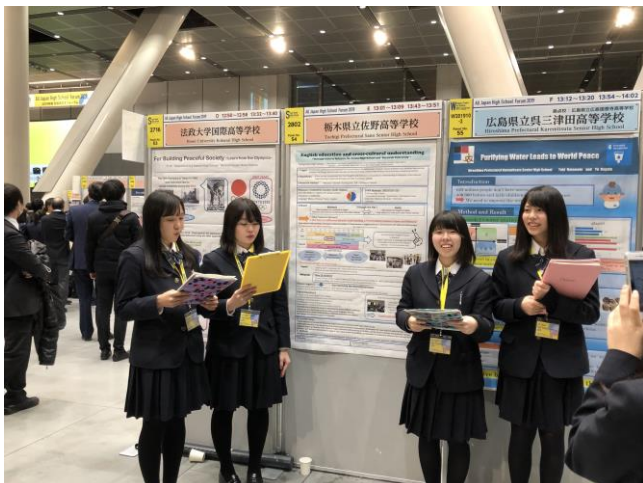
～全国高校生フォーラムとは～

文部科学省から指定された全国のSGH、WWL、GLOCAL指定校が一堂に会し、英語でその研究成果を発表し合いディスカッションを行ない交流する一大イベントです。

～受賞校と本校チームの研究テーマ～

- ・東京工業大学附属科学技術高等学校：「廃棄される果物の皮による金属に対する吸着性能の比較」
- ・大阪府立天王寺高等学校：「ハッシュタグを用いたハーフ差別実態の顕在化による改善」
- ・渋谷教育学園渋谷中学高等学校：「GR 高校生国際会議-多国籍企業から学ぶ中小企業の災害対策」
- ・立命館宇治高等学校：「高校生だからこそ実現できるSDGsの解決方法」
- ・栃木県立佐野高等学校 SGH クラブ海外研究班  
：「マレーシアサラワク州における観光業・民族文化・語学教育分野の日本との比較」

### ☆佐野高校 SGH クラブ海外研究班の生徒たちの会場での様子です



## ☆フォーラムに参加した佐野高校 SGH クラブ海外研究班の皆さんの感想です！

### ○関谷 愛可(2-1)

私は全国高校生フォーラムに参加し、たくさんの刺激を受けました。生徒同士のディカッションでは、全国の高校生や国外の生徒と英語でコミュニケーションを取ることができました。ポスター発表では、練習通り発表することができましたが、反省点も多く、また他校から学んだこともありました。レベルの高い高校生と交流することで、とても良い刺激になりました。この経験を糧に今後の研究に励みたいです。

### ○安部 悠葉(2-2)

全国の高校生が集まる場で、発表ができるという貴重な体験をすることができました。また、全国の高校生と交流する機会があり、「持続可能な社会の実現」について英語で話し合いをしました。今まで思いつかなかった考えにふれて、英語で話し合う楽しさを知りました。この経験を今後の活動に活かしていきたいです。

### ○大塚 萌絵(2-2)

初めて英語で挑んだ今回の発表は、マレーシアフィールドワークに次ぐとても貴重な経験となりました。各都道府県の生徒と交流をしたり、大学や専門家の先生の質問に答えたりと、緊張してばかりでしたが、英語の重要さを楽しみながら実感できました。この経験を今後の活動に必ず活かし、より充実した内容の研究にしていきたいと思います。

### ○橋本 梨花(2-2)

マレーシアでのフィールドワークでは3つに分かれていた班だったが、今回の発表会ではそれぞれの班の研究テーマから関連性を見出し、1つにまとめることになりとても大変だったが、1つの立派な研究とすることができた。英語での質疑応答は俊敏な対応が求められ、とても大変だった。今回体験できたことはどれもやりがいがあり、今後の自分の活動にとってとても良い刺激となった。

## ☆ディスカッションの様子です ⇒

